

令和5年度 第5回公立鳥取環境大学経営審議会 議事要旨

- 日 時 令和6年3月8日(金) 16:30~17:55
- 場 所 ホテルニューオータニ鳥取 はまなすの間(対面会議)
- 出席者 江崎信芳委員、西山信一委員、小林朋道委員、田中洋介委員、若原道昭委員、林昭男委員、米田裕子委員、山田修平委員、
[8名/10名]
山崎安造監事、北野彬子監事[2名/2名]
- 欠席者 児嶋祥悟委員、澤志郎委員

【議事】

1 前回議事要旨の確認

原案のとおり承認された。

2 審議事項

(1) 令和5年度予算の補正について

事務局から令和5年度予算の補正について説明があり、原案について承認された。

〈主な意見等〉

- ・ 結局光熱水費は、どのくらいかかったのか。
→電気代で1億円を越す心配をしていたが、良い契約が出来て、ガス代込みで5000万円弱程度の見込み。

(2) 令和6年度当初予算について

事務局から令和6年度当初予算について説明があり、原案について承認された。

〈主な意見等〉

- ・ 学生支援の入学前教育についてどのようなものをどれくらいの期間やっているのか。
→入学前教育は、令和5年度入学から開始したもの。本学は特別選抜が入学定員の約50%ということもあり、入学前教育を拡充していくべきだという考えで、アドミッションセンターを作り必要な人材を配置して体制を作ってきている。予算は、直接的なeラーニングなどの資材関係で体制づくり等については、ここには計上されていないので、実態としては、もっと沢山かかっている。全体の研修会をオンラインで2回。また英語村のスタッフによりオンラインで何度か英会話等を行い、入学後英語村をスムーズ利用できるようにしている。数学に関しては、動画を作成してそれにより小テストに答えるようにしている。時期的には、共通テストが始まるより前に終了。それ以外に教科の教育以外にも先輩学生を登場させてオンラインによるフリーディスカッションで入学後の大学生活の不安を解消するということも行っている。
- ・ ざっと見た感じ重点取組事項にあがっている経費は、1億程度しかない。重点取組事項と言っているのに非常に寂しい。学生にとってこういう風に学生のために使っているというように解り易く伝えることが大切だと思う。例えば、「英語村ではこれだけかけて英語の学力が上がるようにしてますよ」とか「色々な資格を取るのにこれだけかけてやっていますよ」とか。トータル額で示して頂いて、「環境大学に行くとこれだけ支援してもらえるんだ」ということが出てくると良いのではないかと。多くの額を学生の為の負担軽減とか学力向上のために使っていますよというのがアピールできるような形を考えていただけたらと思う。これが次の学生を呼

び込むときに生きてくる。

→組み立て方が委員がおっしゃるとおり、通常のもので載っていない。新しいこと、強化することのみとなって、ベースになる物がこれに出てこない。全体としては、どういう使われ方をしているか学生目線で解り易いものに変えていくのが必要なのかもしれない。今年度、広報戦略で戦略的に発信していこうとしているところである。来年度から第3期が始まるので、全体を見てもらえるような形で構成を検討したい。

- 支出の教育経費の説明に「コロナ禍緊急支援、県内生活支援等の見直しに伴う減額」とあるが、従来通りの金額に戻ったということか。充実すると言いながら減っているというのが目に付く。寄附金事業が減っているというのは、寄附金が減っているのか、周年事業の関係か。
→教育経費は、コロナ禍が過ぎ、通常ベースに戻ったもの、寄附金は、実績ベースで周年事業やコロナ禍の寄附金の減少による実績ベースによるもの。「魅力づくり」については、直ぐに体制が組めないで、内容等が固まったら今後補正予算で対応していきたい。

(3) 学長戦略企画会議の設置について

事務局から学長戦略企画会議の設置について説明があり、原案について承認された。

(主な意見等)

- 公立大学の理事長と学長の使い分けはどの様になっているのか。
→大学の教育・研究の教務・学務などは学長で、総務・予算などの法人業務は理事長。
- 学長戦略企画会議とあるので、経営面では無く、学業面について行うのか。戦略会議ということで、会議を行うことは良いと思うが、会議というのはなかなか進みが遅い。やはり学長のイニシアティブがどれだけ生かされる会議のやり方にするのか。多数決でやっていくと前に進まない。会議が目的ではなく、戦略を練って早めに動いていくことを形にしていけないとこれだけ子供が減ると難しいことが起こってくるのではないか。戦略の中には、真面目な物ばかりでなく、面白いものもあっても良いのではないか。環境大学もかつてボーダーラインが下がって受験生からそっぽ向かれたこともある。入ってから伸ばしていくことも大切で、入試制度も色々あるので、上手にやっていただきたい。
→長い目で見て、教育と経営両方の面で考えていかないといい戦略は出来ない。この会議では、今後の重要な課題全般を扱う。将来構想に係る魅力づくり等の企画アイデアについて、案を磨いて良いものにし、幹部会へ提案して実行していく位置づけ。会議は学長主導で進める。会議に置くプロジェクトチームが検討を始めた素案には、教職員と学生のスポーツ大会など、楽しいアイデアも含んでいる。
- 会議の事務局が総合戦略課になっているが、事務局は教員も入らないと教務の事がわからないのではないか。会議をするのが目的ではなく、実効性を保つことも考えていかなければならない。
→現在すでに小林先生をはじめ、いろいろな教職員のメンバーが入ったプロジェクトチームが議論を進めている。今後は、このチームを増やしていくことを考えている。
- 組織規程に追加になるのか。
→幹部会議の次辺りに追加される。

(4) 年度計画廃止に伴う諸規程の改正について令和6年度当初予算について

事務局から年度計画廃止に伴う諸規程の改正について説明があり、原案について承認された。

(5) 公立大学法人公立鳥取環境大学職員給与規程等の一部改正について

事務局から公立大学法人公立鳥取環境大学職員給与規程等の一部改正について説明があり、

原案について承認された。

3 報告事項

(1) 公立大学法人公立鳥取環境大学第3期中期計画の認可について

事務局から、公立大学法人公立鳥取環境大学第3期中期計画の認可について報告があった。

〈主な意見等〉

- ・ 評価委員会からどのような意見が出たのか。
→細部の修正意見はあったが特段の意見としては出していない。

(2) 令和6年度公立大学法人公立鳥取環境大学役員体制について

副理事長から、令和6年度公立大学法人公立鳥取環境大学役員体制について報告があった。

(3) 教員の採用・昇任について

事務局から、教員の採用・昇任について報告があった。

(4) 令和6年度教学体制について

副学長から、令和6年度教学体制について報告があった。

(5) 近況報告

事務局から近況報告があった。

5 その他

6 閉会